

第2回 板橋区自転車活用推進計画策定委員会 議事要旨

No.	ご意見等	事務局からの回答
1	<p>「スマートモビリティ」という言葉は、自動車メーカーなどが「スマートシティ」などと併せて使用している印象が強く、どちらかという自動車イメージしてしまう。【福田会長】</p> <p>「スマートモビリティ」という言葉について、よりわかりやすい表現にできないか。「次世代自転車型モビリティ」など、「自転車」という単語が入った方が良いのではないか。【中島委員】</p>	<p>本計画では自転車を単なる移動手段として捉えるのではなく、乗ること自体を楽しむという意味を持たせたいと考えています。こうしたことを踏まえつつ、様々なご意見をいただきながら、より分かりやすい名称を検討いたします。</p>
2	<p>国や東京都の自転車活用推進計画において、「スマートモビリティ」に関する記述はあるのか。</p> <p>また、スマートモビリティは法令上の扱いや位置づけがあまり明確になっていないため、計画の目標設定がしにくいのではないか。【三嶋委員】</p>	<p>国の計画には、「新たな低速小型モビリティの登場が、今後、自転車通行空間にも影響する可能性があることを踏まえつつ、この通行空間の整備を一層推進していく」との記述があります。</p> <p>電動小型モビリティの法的な位置づけについては、最新の動向を踏まえつつ、現段階で断定できない部分については、区としての方向性を記載していく方針です。</p>
3	<p>本計画においては、自転車を活用して利用を増やすという方向性があると思うので、他の交通との関係性を考慮する必要があると思う。現状では他の交通モードとの関係がはっきりせず、需要がシフトする部分を明確にしていけないと感じる。【中島委員】</p>	<p>自転車を公共交通機関の一つとして位置づけられないかなど、他交通からの需要のシフトという視点の追加を検討いたします。</p>

No.	ご意見等	事務局からの回答
4	<p>海外では日常的にキックボードが利用されている国も多いことから、そうした事例にも目を向けると良いと思う。ただし、海外と日本とでは道路の広さや文化などが違うため、自転車との共存など、日本や板橋区に合った考え方が必要だと思う。【野田委員】</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画への反映等について検討いたします。</p>
5	<p>本文中に「安全な自転車通行のため」とあるが、区内では歩行者の数のほうが多く、歩行者の安全をいかに守っていくかという視点が重要だと思う。【別府委員】</p>	<p>自転車のみに着目した安全ではなく、歩行者側の視点にも立った安全を意識し、歩行者と自転車がともに共存できるといった視点のほか、啓発や表示の工夫等も検討いたします。</p>
6	<p>骨子案ではソフト対策が中心のような印象を受けるが、ハード整備の部分はどうに進めていくのか。【大島委員】</p>	<p>自転車通行空間の整備に関する方針を具体的に盛り込む予定です。</p>
7	<p>区内にある「都道」について、東京都が定めた自転車通行空間の整備に関する計画との整合を図ってほしい。【片岡委員】</p>	<p>国道や都道については、それぞれの道路管理者の方針等と矛盾が生じないように調整しながら進めます。</p>
8	<p>自転車の活用（ソフト対策）に関する部分についてはどのように評価を行っていくのか。【山倉委員】</p>	<p>アンケート調査等で指標を設定し、客観的なデータに基づいて、計画を推進したことによる効果を把握していきたいと考えています。</p>
9	<p>自転車ネットワークにおける優先整備路線の選定基準で、「〇〇へのアクセスルート」とあるが、始点はどこからなのか。表現がわかりづらい。【中島委員】</p>	<p>始点が明確になっていないため、よりわかりやすい表現を検討いたします。</p>
10	<p>商店街では、歩行者専用の時間帯に多数の自転車が走行していたり、店舗の近くに自転車が止められず不便であったりするなど、自転車利用における課題が多いと思う。【大島委員】</p>	<p>商店街についてはご指摘のような課題があることを認識しています。素案の作成に向けて方向性を整理いたします。</p>